

平成27年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	横田
全体計画					経費区分	経常的経費			内線		3425	
事務事業名		4186 観光・誘客宣伝事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		05042700 観光産業の振興										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070103 商工費・商工費・観光費										
	事業	020000 観光・誘客宣伝事業										
事業目的						事業概要・効果						
観光の振興を行い、多くの観光客が訪れることにより、須坂市の活性化を図る。						須坂市を多くの人に知っていただくためのプロモーション活動、シティーセールス活動により、多くのお客様に須坂市を訪れていただき、また、繰り返し訪れていただくために、市外、県外に向かって広く情報を発信、PRする。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 平成26年度末の北陸新幹線金沢延伸を見据え、大阪に拠点を置き関西方面を重点とした誘客宣伝の実施。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。	観光パンフレット等の作成掲出と観光情報の積極的な提供やPRによる観光誘客。 「信州須坂プロモーション事業」により、東京・名古屋・大阪・北陸を重点とした誘客宣伝の実施。

指 標 名	観光案内所の観光客利用者数					
算 式	観光協会窓口での観光案内数＋交流センター入館者数－交流センター多目的ホール利用者数					
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標			24,500	25,500	26,000
	実 績	25,618	24,285	23,153	18,014	
指標選定の理由	観光案内所へ訪れる観光客数により、戦略的なPRの効果が計れる。					
最終年度目標の根拠	平成22年度19,920人の30%増を目指す。					
指 標 名						
算 式						
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						
年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		56,318	20,598
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5	5
一般財源		56,313	20,593
人 員 数 (人)	正規職員	1.6	1.6
	嘱託職員	0.4	0.4
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	10,972.8	10,972.8
	嘱託職員	1,090.0	1,090.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	12,062.8	12,062.8
市民一人当たりの経費		1.3	0.6
総額		68,380.8	32,660.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	10	賞与金
11節 需用費	3,243	消耗品、印刷製本
13節 委託費	34,542	観光案内誘客事務委託、観光PR業務委託（信州須坂プロモーション事業）、観光ポスター作製委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,161	各観光団体等会費及び負担金、イベントに対する負担金
その他	4,362	役務費（広告料）

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	消耗品、印刷製本
13節 委託費	100	観光案内誘客商務委託、観光PR業務委託（信州須坂プロモーション事業）、観光ポスター作製
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	14,185	各観光団体等会費及び負担金、イベントに対する負担金
その他	6,313	役務費（広告料）

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	普通
評価コメント	交流人口の増加には、観光客の誘客が必要	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	観光交流センターの入場者数減少により実績値が減少	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	交流人口の増加には、観光客の誘客が必要	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成25年度より減少傾向、インバウンドも含め観光客の増加を図る。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
プロモーション事業等を通じて一定の誘客を図ることができた。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
プロモーション事業を通じてのシティセールス、観光ポスターの掲出により、県外、国外に向けて広く情報を発信し誘客を図る。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	